

今シーズン国内初！北海道の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザを確認！！

10月17日、北海道厚真町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の疑似患畜が確認されました。

国内の養鶏場におけるHPAIの発生は今シーズン初めてです。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、飼養衛生管理基準に基づく対策をお願いします。（裏面参照）

【農場の概要】

- ・所在地 北海道厚真町
- ・飼養羽数 肉用鶏 約1.9万羽

【経緯】

10月16日（水）

- ・死亡鶏増加の報告を受け、北海道が農場の立入り検査を実施
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

10月17日（木）

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認



飼養衛生管理基準の遵守状況の点検を！

鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様へ

家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

特に、次の飼養衛生管理基準7項目の遵守状況を点検してください。

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目15）
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目16）
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目17）
- ④ 鶏舎に立ち入る者の手指消毒等（項目25）
- ⑤ 鶏舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目26）
- ⑥ 鶏舎外での病原体の汚染防止（項目28）
- ⑦ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒（項目32）

発生予防のポイント

農場に入る全ての

人・車両・物品の衛生対策



周囲にはウイルスがあると認識。
農場内・家きん舎内には入れない。

衛生管理区域・家きん舎ごとに
専用の長靴を着用



着替え・履き替えの前後で
交差しないよう境界を明確に。

ウイルスを媒介する

野生動物の侵入防止対策



「農場に近寄らせない」
「農場内に入れない」
「ネズミ・ハエ等の定期的な駆除」